「活躍する地域の代協」
都道府県代協レポートリレー
第13回
鹿児島県代協

お客様から信頼される保険のプロ集団を目指す

日々噴煙をあげる桜島、南北600キロ青い空と海、歴史とすばらしい自然に囲まれた地、鹿児島県。

一般社団法人鹿児島県損害保険代理業協会は、令和2年4月現在正会員数192店が加入しており、鹿児島中央駅近くに事務局を置いて活動しています。現在コロナ禍において営業活動の自粛の中、電話やメール等、テレワーク導入など手続き対面から非対面へ営業スタイルの変更、そして代協活動も同じくリアル会議からWEB会議の導入など、変化してきております。

令和元年12月6日・7日、九州南ブロック協議会、人材育成研修会を雄大な桜島の麓で開催しました。九州南ブロック会員71名、日本代協からも3名ご参加いただき「保険代理店の明日を考える」をメインテーマに開催いたしました。基調講演では日本代協の野元専務理事に「変化に流されない代理店経営を考える」の演題で顧客本位の業務運営の確立、業界、金融行政の目指すものなどのお話をいただき、これからの代理店のあるべき姿とは何なのかを考えさせられました。

人材育成研修会参加者

研修2日目はグループディスカッション形式で各自の仕事への想いや代協活動についての想い等の意見を出し合いました。参加者はこの二日間で講師からの学び、会員同士の交流で多くの気付きヒントを得られた研修会であったと思います。

また、令和2年1月23日「サイバー犯罪の現状と対策」のテーマで鹿児島県警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課の海江田氏を講師に迎えて、サイバーセキュリティーセミナーを開催しました。サイバー犯罪の現状は鹿児島でも私たちが考えている以上に多く、また、実際対策に取り組んでいる企業は少なく、サイバー保険加入率も非常に少ないとのこと。また損害よりも信頼を失うこと、オリンピック開催国また鹿児島国体開催地として、損害保険を扱う者として情報発信し、少しでも犯罪の減少に役立つために早急に対策に取り組んでいかなければならないことに気づかされたセミナーでした。

地域貢献活動として、毎年2月14日バレンタイン献血を行っています。今年で19回目を迎えました。会員、保険会社社員、一般の方にも呼びかけて献血をお願いしており、鹿児島県代協の大きな地域貢献事業として認知されています。

他にも地域貢献事業に取り組んでおりましたが、今年は、新型コロナウイルスの影響で、6月鹿児島磯海水浴場清掃、8月AED講習も中止になりました。今後前向きに今できること、何をやるべきか会員同士で話し合っているところです。

これからも、当代協はお客様を取り巻くリスクとニーズを的確に捉え、最適なアドバイスまたリスクの回避や被害を最小限に（防災・減災）留めることができるよう「お客様から信頼される保険のプロ集団」を目指し、会員間の情報交換、各種セミナー、地域貢献活動など積極的に取り組みたいと考えております。